

－「トライアル」から「実現」へ－

利用推進ガイドラインの作成

- ① これまでの下水熱利用実例やFS調査結果、海外における推進事例などを踏まえ、我が国における下水熱利用に適したプロジェクト推進モデルを検討し、プロジェクト推進ガイドラインを作成します。
- ② 昨年12月に策定した下水熱利用ガイドラインに続いて、管路内敷設型の利用ガイドラインを作成します。

下水熱ポテンシャルマップ － マッピングモデル都市の公募とマップ作成手引きの整備

- ① 下水熱＋ブレンドできる他の熱源により熱利用可能性の高いエリアを地図上に表示する「下水熱ポテンシャルマップ」の作成を希望する自治体(マッピングモデル都市)を公募し、選定いたします。
- ② マッピングモデル都市のマッピングに対しては、本協議会にマッピング分科会を設け、環境省と連携して同分科会でマッピングを支援いたします。
- ③ ②のマッピング過程を検証しつつ、下水熱ポテンシャルマップ作成の手引きを整備いたします。

(平成25年度予算 29億円の内数)

下水熱プロジェクト構想 － 下水熱利用プロジェクトの構想を公募し、その実現プロセスを支援

- ① 下水熱を利用したまちづくりプロジェクトの構想を公募し、選定いたします。
- ② プロジェクト構想の実現に向けて検討を進めるため、本協議会に地域のステークホルダーの参画するプロジェクト推進分科会を設け、FS調査・下水熱利用調整・助成制度の活用等、経済産業省と連携してプロジェクト実現に向けた検討・調整プロセスを支援いたします。

(FS調査:平成25年度予算 16百万円)
(助成制度:平成25年度予算 (継続) 40億円)
(新規) 27.5億円)

下水熱協議会を拠点とした、地域との連携による下水熱の推進

